

# 関 濟 協

関西済州道民協会 ● 会報

創刊号

1994年6月27日発行





### 会旗の説明

関西濟州道民協會の会旗（写真）は創立総会の席上、慎久範濟州道知事より贈呈されたものです。

会旗の円は太陽、統合、和合を表し、三太極は三多、三無、三清（澄んだ水・澄んだ空気・澄んだ人心）を表しています。また四隅は四団体の合心、すなわち統合を意味しています。

図案制作者は濟州大学美術学科教授の文基善氏。同氏は一九三五年に濟州市で生まれ、六〇年ソウル大学校美術大学卒業、六五年濟州道旗図案、八〇年濟州道文化賞受賞、八四年第一三回全国少年体典聖火台製作、八年ソウルオリンピックク寄聖火台製作等々、其界の第一人者です。

（題字「関濟協」は康忠男会長の直筆です）

（表紙の写真は濟州島のシンボル漢拏山です）

# 夢とロマンのある組織を 子々孫々に残したい



康忠男会長

濟州4団体の大同団結で  
変革の時代を乗り切り  
より熱い「愛郷」事業へ

歩きながら考えよう

関西濟州道民協会 会長 康忠男

四団体の合併が私たちの夢でありロマンでありましたが、今までそれを積極的に推進する人がいませんでした。ところが、一年ぐらい前から四団体を合併しようとの雰囲気盛り上がり、四団体の役員の方々が一緒に頑張つて、南北統一よりも濟州四団体の合併の方が難しいとも言われておりました四団体の合併をやつと実現することができました。

そして、私が会長を努めるこ

とになりましたが、本当に名譽なことであり、意義のあることだと皆さんに感謝の意を表します。損得を考えますと、とても引き受けられる役職ではありませんが、創立総会には濟州道知事をはじめ多くの来賓の方に来ていただきました時は、私たちの祖国、私たちのふるさととは、私たちを見捨ててはいなんだと感じ、本当にありがたいと思えました。これからも祖国を愛し、故郷を愛していきたいと思えますが、そのたびに私たちが自分の事業を愛して力をつけるということが大事だと痛感する次第であります。

ところで、私の会長就任にはいろいろな苦情が出ました。日本でもよくリストラと言われ、時代の変革と言われています。昔流でいえば革命です。今はこういう変革の時代になってきています。昔の常識は、今の常識ではないと言われております。どちらが正しいかはよく分かりませんが、ただ言えますことは、合併した私たちのこの団体

が、より団結してうまく運営されていけば、そこに立派に常識ができる筈です。皆さんもそれを認識して、私のやり方に多少不満もあるでしょうが、歩きながら考え、悪ければ直していくということでご勘弁願いたいと思います。

三番目に、仲良く団結することが一番大切だと思います。いがみ合っても何一つ得なことはありませんが、団結すれば何かができますし、お互いが力強く助け合つて行くこともできます。祖国を離れ、他国で暮らしている私たちは、団結をしないで、自分だけが賢くなるうとしてもダメです。

同じ民族、同じ血を分け故郷を同じくする私たちですから、仲良く団結することが肝心です。仲良くするために上の人から手を握り範を示す必要があります。ですから、四団体統合をスタートに役員の皆さんがまず団結し、私たち濟州道民の本当に豊かな生活、あるいは子孫繁栄のことを考えて、仲良く一致団結することを願わずにはいられません。

# 大阪に輸出前進基地を

## 濟州特産物を大規模に

PR

在日同胞の本国投資にも  
最大限の便宜を図りたい



慎久範濟州道知事

### 「関濟協」会館に 常設展示場を設置

#### 祝辞要旨

四団体が統合できまして心より祝賀します。皆さんが関西地区に十四万人いらっしやって、郷土に貢献しようとの熱い思いから一つに力を合せてやるということに感銘を受けました。四団体統合は、南北統一より難しいということでしたが、四団体が統合出来たのですから南北統一も近いと思います。

ご承知のように過去の濟州島はご飯も食べられないほどの貧困の島でした。その貧困の島を離れて日本で生活するようになりました皆様が、幾多の艱難辛苦を乗り越えられて日本での生活基盤を造られ、そして、生まれ故郷の濟州道へ物心両面で貢献してき

たからこそ、今日の濟州道があると確信しております。今一度、皆様に感謝します。

私も時と場合によっては、濟州道知事としてではなく、皆様の仲間として一緒に活動していたかもしれせん。それはともかくとしまして、今後とも濟州道知事として、会の団結と発展に尽くして行きたいと思えますし、濟州道へきた時は道庁は大きな建物ですから、お気軽にお立ち寄りくだされば幸甚に存じます。

皆様の故郷であります濟州道でも、「濟州道から世界へ」の標語で、経済をはじめとする国際交流に力を注いでいます。そうした中で今、濟州道は二つのことをしようとしています。一つは工業品、農水産物の輸出です。日本は六百万ドル以上の農

水産物を輸入していますが、濟州道はその日本に非常に近い位置にあります。

今でも桃やトマトを輸出し、濟州道は農水産物直送の拠点となっておりませんが、大阪に輸出前進基地を建設したいと考えております。今後とも、日本人や在日同胞に喜ばれる品物をどのように作るかの視点から、日本市場をより深く研究し、濟州道特産物を開発していきたいと考えております。皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

二つ目は、濟州道に投資しようとしている方々を応援したいと思えます。今まで故郷で投資をしても、うまくいかなかったこともあり、投資をしたものを売りたいという人も多く知っています。

日本で苦勞し、故郷を思う皆様の気持ちには頭が下がります。その意味からも今後故郷の濟州道に投資し、開発事業を興そうという方々にはいろいろな優遇措置や便宜を最大限図っていきたくと念じておりますので、積極的に投資し、事業を興されるよう希望しております。

#### 来賓祝辞

創立総会では、慎久範濟州道知事の他に朴鍾沂駐大阪韓国総領事、梁正圭韓國国会議員、金時顕韓國民団大阪本部団長からも来賓祝辞を頂戴した。



朴鍾沂総領事



梁正圭国会議員



金時顕団長

1994.1.16



**創立総会には以下に紹介する来賓の方々が参席した（順不同）**

慎久範・済州道知事、朴鍾沂・大阪総領事、梁正圭・国会議員、金時顕・民団大阪団長、朴洸世・同議長  
 金昌植・同監察委員長、宋哲・同事務局長、李熙顕・関西興銀会長、李勝載・同理事長、山喜勉・大阪  
 商銀理事長、李相均・大阪韓国商工会議所会長、金和輝・在日本済州道民協会（東京）顧問、高河允・  
 同顧問、夫昇培・同会長、韓在銀・同副会長、全秉敦・ソウル済州道民会事務局長、白光洙・同運営委  
 員、金熙培・同運営委員、宋奉奎・済州商工会議所副会長、韓性淡・済州道議会副議長、玄泰植・済州  
 市議会議長、梁斗憲・済州道市郡議会議員協議会会長、高義敦・北済州郡議会議長、文相洙・南済州郡  
 議会副議長、金大成・済州新聞社長、洪明杓・済民日報社長、姜榮石・漢拏日報社長



参席した本協会の顧問の方々

# 私の第2の 人生は濟州道の 皆さんから始まった

関西興銀 会長 李 熙 健

関西濟州道民協会の創立総会の席上で、濟州道名誉道民章をいただきました。二十数年前には国民勲章最高の榮譽であります無窮花草に輝き、ソウル市の名誉市民章も受章し、さらには大邱市の名誉市民章もいただき、非常に感激しましたが、このたびの濟州道名誉道民章は、

また格別の感激があります。私の第二の人生は濟州道の皆さんから始まっています。来年は解放五十周年ですが、五十年前のあの終戦の鶴橋に不思議な空気がありまして、いろいろな商人がひしめき合い、日本人、中国人、朝鮮人が入り交じって、時には大きな争いが起きました。

その国際紛争の一つが起きた時、私は生野区に起居しておりましたが、中国人二人と日本人二人が、私を訪ねてきて、なんとか円満解決したいから手を貸してくれということでした。それが鶴橋と縁を持つ始まりでありました。

## 李熙健新韓グループ会長に 名誉道民章 經濟発展に大きく貢献

当時の鶴橋国際マーケットには濟州島人が七五%、日本人が一五%、そしてユッチサラム(陸地人)といわれた朝鮮人が一〇%でした。私はユッチサラムとして鶴橋国際マーケットの会長を十五年間努めることとなりました。

回ほど人民裁判というものにかげられたこともあり。が、私は屈せず、日本の官庁当局と協力しながら鶴橋の商人を保護し、警察と税金に関わるすべての問題を、私の率いる組合で処理をしました。鶴橋の商人は税務署がどこにあるのかも知りませんでしたが、金額は小さくともちゃんと申告をし、納税しましたから、官庁当局の信用も抜群でした。そういう仕事を通じて、濟州道出身の立派な方々を知るようになり、本当に親しみを感じるようになりました。そして、濟州道氣質を誰よりもよく知る人となりました。

昨年十一月に濟州道へ参りましたが、その際、濟州道の発展を目にし、感慨無量なものがあります。二十数年前に、時の朴正熙大統領が濟州道を視察する折に、濟州道知事の車がないというので、ある先輩の進めで、一年ばかり使用したベンツを急遽、船に積んで濟州道へ持っていき、大阪興銀からも二十五名が参加しました。その時、濟州道の二十を越す全機関長が全員空港まで迎えに出てくれ、丁重にもてなしてくれました。そればかりでなく、二日間かけて濟州道をくまなく案内してくれました。

山紫水明という言葉がありますが、これほどすばらしい島が何処にあるか、奇岩奇勝に富むこのような素晴らしい所を、本当になんとか考えないといかんと思いましたが、濟州道の開発のために協力したいという気持ちから、濟州道の開発は在日同胞に任せて貰えないかということを経国政府に申し入れたのであります。

しかし、この提案が、やや迂闊で軽率だったのか、李熙健が濟州道を一人で買い取るという話が濟州道の有力な方から飛び出すなど大変な事態に発展してしまいました。で、急遽、全くそういう意思がないことを理解して貰いたいということから、濟州道開発の話はなかったことにしたということもありました。

関西興銀の役員は六〇%以上が濟州道の人です。彼等は優秀で、積極性もあります。おかげで今日のような隆盛をみているのであります。が、改めて濟州道の皆さんに深い敬意を表し、今後とも関西濟州道民協会がより一層発展させますことを祈願します。



# 盛大に創立総会

六百余人が参集し

四団体統合の

新しい門出を祝福

在阪済州四団体である道民  
会、親睦会、経済人協会、青  
年会の統合が済州道民の長年  
の宿願であったが、関係者の  
努力がやっと実り、新しく関  
西済州道民協会として出発す  
ることになった。その創立総  
会が一月十六日、大阪市北区  
のロイヤルホテルで六百余人  
参加して開かれ、変革への新  
しい時代へ向けての在日の愛  
郷活動を積極的かつ大規模に  
推進していくことを確認し  
た。

この日の創立総会には慎久  
範済州道知事、梁正圭国会議

員、朴鍾沂駐大阪総領事、金時  
頭民団大阪団長、李熙健新韓グ  
ループ会長ら内外から各界各層  
の来賓多数が臨席し、新しい門  
出を祝福した。

進行は韓長淑総務担当副会長  
が努め、国民儀礼の後、吳承明  
会長代行が「難産であった四団  
体の統合」の経過報告を行っ  
た。また旧道民会から百八十九  
人、旧親睦会から百五十五人、  
旧済州道民協会から五十三人、旧  
青年会から百一人がそれぞれ入  
会し、新規入会が百十六人で合  
わせて六百十四人が現在の会員  
であり、関西地区には十二万人

の済州道民が生活していること  
を鑑み、今後飛躍的に会員が増  
強されると報告した。さらに、  
財政面でも旧四団体からの資産  
を受け継ぎ、新たな寄付金も多  
額にのぼっており、独自の会館  
建設に大きく踏み出しているこ  
とが明らかになった。

続いて、議案審議に移り、議  
長に康忠男会長、副議長に吳承  
明会長代行を選任して、第一号  
議案の規約（議案説明／金孝晃  
総務部長）、第二号議案の事業  
計画案（議案説明／金広侖事業  
部長）、第三号議案の予算案  
（議案説明／洪正雄財政部  
長）、第四号議案の役員人事  
（議案説明／洪鍾淳厚生担当副  
会長）等の各議案を満場一致で  
承認、採択した。

この後、挨拶に立った康忠男  
会長は「南北統一より難しいと  
言われた四団体の合併ができ、  
感激新たなものがある。これを  
機にさらに大きく団結して、日  
本に生きる私たちの子孫に夢と  
ロマンのある会館を残し、組織  
を残していこう」と強調し、万  
雷の拍手を受けた。

続いて、慎久範知事より会旗  
の贈呈を受け、また、慎久範知

事へ花束を贈呈した。また、李熙健新韓グループ会長へ濟州道名誉道民章が授与された。

この後、慎久範知事は祝辞を通じて「大阪に農水産物の輸出前進基地を建設する一方、愛郷精神の発露である在日同胞の本国投資事業を政策的に支援していきたい」と述べ、関西濟州道民協会に熱い期待を寄せた。

また、梁正圭議員は「四団体統合に労苦を惜しまなかった諸先輩に敬意を表する。この団結を末永く持続し、権益向上につながることを期待する」と祝福した。

さらに、李熙健新韓グループ会長が濟州道名誉道民に輝いた喜びを述べた。

この後、祝電が披露され、来賓紹介が行われた。最後に、金用文事業担当副会長が閉会辞を述べ、万歳三唱で第一部の式典を終了した。

この後、席を「光琳の間」に移して第二部の祝賀パーティーが行われ、参加者は一様に四団体の統合を喜ぶと共に、なごやかに歓談した。



会場をうめつくした参加者



輪になってさらなる  
団結を誓いあう



郷土芸能に故郷の  
味をしのぶ



# 難産だった 4団体の統合

## 会長代行 呉 承明

一昨年の四月頃に、四団体統合委員会ができて、一団体に三人づつ十二人の委員が選出されまして、統合組織設立の準備をずっと進めてまいりました。

そして昨年の六月頃から、会長にはこの人しかいないということ、富士電線工業の康忠男社長に会長就任を要請し、交渉に入りました。そして十二人の委員がいろいろと話し合い、交渉したのでありますが、健康が

優れないということ、長い間、会長就任を固辞し、「辞退通知」を関係者に郵送する事態にまで発展しました。

最終的には十二人の委員の中から洪鐘淳（現厚生担当副会長）、呉辰成（現財政担当副会長）の二氏を選抜しまして、康忠男氏と交渉しました。その結果、康忠男氏は「実質的には呉承明氏が会長代行を引き受けてくれるならやりましょう」という条件で就任の意向を示したのであります。

## 呉承明会長代行

で、昨年九月三十日の旧盆の時でしたが、上六の都ホテルで朝の十時半から昼の二時頃まで話し合いましたが、私たちを見捨てるんですかと言われ、そのような経過を説明されますと、私もいろいろ考えた末、断るわけなまいかず、会長代行という要職を拝命することに相なりました。

そしてその夜の百楽での会合に出席し、設立準備委員会の設置に合意したのであります。実のところ、会長代行を受けたま

したものの、本当に苦勞しました。が、引き受けた以上は何がなんでもやんなければとの決意から、いつも洪鐘淳氏と金孝晃氏（現総務部長）の手助けをいただき、何とか形らしいものを作ったような次第であります。

今後、どういう会を作った方がいいのか、二世三世のために何かをしてやりたいということ、いろいろ考えた結果、自分の会館がなくてはどこへ行っても大きな顔もできないということから、まず、会館建設を第一の事業とすることになりました。幸い、東成区に立派な会館を取得することができました。

皆さんが一人でも多く積極的に参加し、活動していただければ立派な会ができると確信しておりますし、二世三世に立派な会館を残すことが、私ら一世の使命だと思っております。

## 経過報告

### 創立総会までの歩み

▽（一九九三年）六月三日 仮称「済友会」結成準備委員会よ

り康忠男氏に会長就任を要請  
▽七月二五日 仮称「済友会」結成準備委員会より再度康忠男氏に会長就任を要請

▽九月三日 康忠男氏が会長に、呉承明氏が会長代行にそれぞれ就任を受諾、「済友会」を解散

▽一〇月二日 設立準備委員会

▽一〇月一五日 準備小委員会

▽一〇月一八日 第一回設立準備委員会 会則委員会

▽一〇月二五日 準備小委員会 事業財政委員会

▽一〇月二日 企画事業財務委員会

▽一〇月四日 設立準備委員会

▽一〇月一〇日 第二回設立準備委員会

▽一〇月一五日 設立準備委員会

▽一〇月二九日 第三回設立準備委員会 理事会設立準備委員会

▽一一月二日 第四回設立準備委員会

▽一一月一〇日 顧問会、忘年会事会

▽一一月二〇日 理事會

▽一一月二六日 第六回設立準備委員会

▽一一月三十一日 常任理事会

▽一二月一三日 役員会議

▽一二月六日 創立総会



厚生担当副会長

洪 鍾 淳

若い人に学び  
世代の壁を  
取り払うのが  
私のつとめ

私は済州親睦会の会長をしている時から、四団体が一つになればとの夢を持っていました。それがこの度実現したわけですから、こんなに嬉しいことはありません。近畿には約十二万人の済州島出身の同胞がいるということで、一つになった新しい組織はまず同胞同士の親睦が第一義です。その上に立って、故郷済州島との交流を盛んにし、向こうの若い希望のある方を留学生らを受け入れて済州島発展の人材養成ができればと

願っています。組織運営が一番難しいのは、やはり人の和の問題です。周知のように、人という字が互いに支え合っているのを見ても分かりますように、人は一人では生きていけません。ですから、私たちの会も何かの支えになるような団体であって欲しいと願っています。それが民族運動の一つの助成になり、二世三世の代になってもっともっと躍進する会になって欲しいというのが正直な気持ちです。私は厚生担当ということですが、顧問の先輩の方々の年代、私たちの年代、そして四十代の年代の意思疎通がうまくいっているとはいえません。それぞれの世代が年齢の壁を打ち破って融和していくことが大切でしょうし、そのためにも粉骨砕身努力していきたいと念じております。要するに、若い人にも学んで、きれいに年をとりたいうことです。新しい会館は、その意味でも私たちの抛り所となる筈です。



総務担当副会長

韓 長 淑

「在日」テーマに  
21世紀へ向け  
新しい未来を  
創造したい

関西道民協会の設立に際し、私たちは新しい気持ちで今一度かみしめ、新しい出発、新しい団結、新しい未来を創造するために尽力していきたいと思えます。思い起こせば、私たち済州島人は二十年あるいは三十年という間、それぞれ四団体に所属して、愛してやまぬ郷土に対し大きな活動をしてきました。その中で、「在日」というテーマの下にそれぞれその友情、友愛を培い、悲しいこと嬉しいことを分かち合っ

て、それぞれの歴史を刻んでまいりました。二一世紀へ向け、私たちが「在日」という社会の中で、協調しあい、助け合い、また心の抛り所となるそういう組織作りを日々考えております。しかし私たち役員だけの知恵ではいささか不安を感じます。ですから、顧問、相談役、理事の皆さんはもちろん、会員皆さんからの、知恵のあるものは知恵を出していただき、経済的にバックアップしてくれる人はバックアップ

プしていただき、あるいは参加することによって組織を活性化することのできる人は大いに参加していただきたいと思えます。私たちはみな家族という意識を持って、各種の行事に参加し、より楽しく生活を過ごされ、またより素晴らしい人格形成に役立てていただいで、今後とも「在日」の子孫繁栄のために五十年、あるいは百年の歴史を築かれんことを期待してやみません。



前列左から李鼎根顧問（円内）、白丁赫顧問、梁熙晋顧問、康勳顧問、康忠男会長、安在枯顧問（故人）、金致富顧問、姜順賛顧問（円内）、後列左から康秉熙副会長、金用文副会長、吳承明会長代行、吳辰成副会長、洪鍾淳副会長、韓長淑副会長、梁斗京副会長、金孝晃総務部長



【名誉顧問】  
慎久範（濟州道知事）

【顧問】  
李鼎根、康勳、金榮洙、梁熙晋、白丁赫、姜順賛、金致富、安在枯（故人）

【常任相談役】  
金容海

【相談役】  
高時鍾、洪官一、金仁植、金昌海、金景玉、李洞伯、林泰連、吳文弼、吳太瑢、文瑢基、金清珍、金昌仁、李寬珩、金基彦、朴東進、李舜芳、金永孝、高東皓、金奉吉、朴泰秀、姜在彦、姜文圭、俞吉植、俞南植、孫昌祿、鄭錫夏、康泰重、康柄彩、



左から康忠男会長、吳承明会長代行、韓長淑副会長、吳辰成副会長、梁斗京副会長、金用文副会長、高昌照副会長、李純安副会長、吳景学副会長、康秉熙副会長、安泰榮副会長

【会長】  
康忠男  
【会長代行】  
吳承明

【副会長】  
（総務）韓長淑、（財政）吳辰成、（組織）梁斗京、（事業）金用文、（企画）高昌照、（厚

生）洪鍾淳、（文化）李純安、（涉外）康秉熙、（体育）吳景学、（青年）安泰榮

【部長】  
（総務）金孝晃、（財政）洪正雄、（組織）金聖大、（事業）金廣侑、（企画）金成洙、（厚生）洪佳佑、（文化）韓成根、

（渉外）洪正一、（体育）文安雄、（青年）朴承福、（前青年部長）崔方元

【監事】  
洪性仁、金性玉、金丞煥

【常任理事】

高南進、高基秀、趙泰華、李君祐、朴國男、李林根、韓健三、金達孝、趙南富、朴茂範、金永柱、梁道孝、朴晶禧、梁錫柱、高昌冕、邵卿司、康隆彦、金淳琦、吳斗京、吳龍浩、李勝玉、韓伸泰、康文男

【理事】

崔正庸、梁宇濟、李泰勛、朴基文、任光隆、李昌南、鄭孟潤、金好正、姜宗河、申英進、文元甲、李友吉、林德男、姜德汝、金榮燦、安潤根、李正林、申政治、文鉉淑、文泰玟、康昌林、李庸鶴、禹瑾成、高武男、梁東錫、高基彦、金生鉉、金太仲、韓秀燮、申榮一、夫忠甫、李英津、高善元、白偉价、趙太錫、金秀玉、金太元、高基柄、梁富三、金炳鍾、梁正明、吳行男、俞昌連、姜健榮、姜博司、姜祥昊、金大植、金奉休、金元奉、朴相薰、夫允宰、安基台、鄭宝潤、高文玉、金斗弘、朴孔來、

安祥文、安昌洪、尹仁生、李允玉、洪敬杓、洪植林、康中彦、韓致文、白国炯、邊昌九

【事務長】

李永哲



右から監事の洪性仁、金丞煥、金性玉の各氏

## 親善交流試合をしたい

濟州の少年野球チームが意欲

本協会に仲介を依頼

濟州道野球協会（金チャング会長）濟州道議会議員に所属する少年野球チームが、日本の少年野球チームと親善交流試合を希望していることが明らかになった。

これは六月七日午前、本協会の金容海常任相談役が本協会事務局を訪れ、吳承明会長代行、高昌照企画担当副会長、李純安文化担当副会長らに伝達したもので、本協会が招請の受け皿となる旨が要請された。

これに対して、吳承明会長代行は、韓日のスポーツ交流は重

右から高昌照企画担当副会長、金容海常任相談役、李純安文化担当副会長



要な行事であることに鑑み、前向きで検討していきたいと表明した。また高昌照企画担当副会長も本協会の存在意義を高めるためにも是非とも実現したいとし、李純安文化担当副会長もスポーツ交流は非常に意義のあることであり応援していきたいとそれぞれに意欲を見せた。

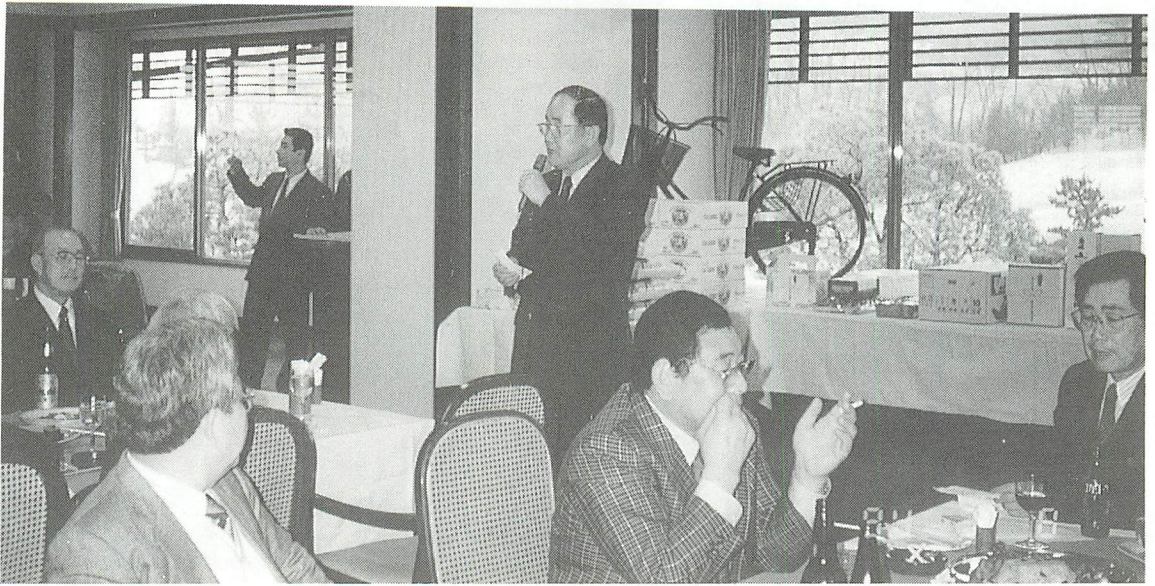
韓国はサッカーの盛んな国だが、最近では野球にも非常に関心

をもつようになった。ところが、濟州道ではもう一つ野球に関心が薄いようで、そのため濟州道野球協会は野球を普及させようとの狙いから、濟州道人が多く住む大阪・生野区での交流試合を思い立ち、金容海常任相談役に仲介を依頼した。

金容海常任相談役は過去、生野区北鶴橋小学校で民族学級の教諭をしていた経験を生かして、大阪市立巽南小学校（南晴久校長）に白羽の矢を立て、大阪府と大阪市の教育委員会に協力を打診した。いずれも快諾を得たため、本協会を受け皿（招請者）とする韓日少年野球チームの親善交流試合が具体化していく気配となった。

正式には、執行部会議等々の審議を経て担当部が決められ推進されることになるが、今年の夏休みあるいは冬休みに親善交流試合が実現すれば、今後、隔年の韓日訪問親善試合も有望となり、またグラウンドを貸与する小学校同士の姉妹血縁、あるいは保護者同士の交流も活発化するものと予想されている。

祝辞を述べる朴鍾沂駐大阪総領事



## 北六甲C. Cに142人が集い華やかにゴルフ会

進行を担当した吳景学・体育担当副会長



関西済州道民協会主催の第一回ゴルフコンペが三月八日、北六甲カントリークラブで一四二名が参加し盛大に行われた。同コンペには女性会員も多く参加し、華やいだムードに包まれた。

それぞれの組で、日頃鍛えた腕を競い合ったが、その結果、グロス一〇三、ハンデ三三・六の文原東珠氏がネット六九・四で見事に優勝した。また、江原秀男（アウト三九、イン三九、ハンデ八・四）、吉本和男（ア

ウト三六、イン四二、ハンデ四・八）、池田宰基（アウト四一、イン三七、ハンデ二・四）の三氏がグロス七八で並んだが、ハンデ差で池田宰基氏がベストグロス賞を勝ち取った。

さらに、ニアピン賞には高木彦司、金井昌紀、安田泰栄、石原修三の四氏が輝いた。なお、一〇位までの成績は次の通り。

◇優勝 文原東珠（アウト五一、イン五二、ハンデ三三・六、ネット六九・四）◇二位 江原秀男（アウト三九、イン三九、ハンデ八・四、ネット六九・六）◇三位 宮本義三（アウト四四、イン四六、ハンデ九・二、ネット七〇・八）◇四位 徳山正雄（アウト四九、イン五一、ハンデ二八・八、ネット七一・二）◇五位 大宮康二（アウト五五、イン四九、ハンデ三二・四、ネット七一・六）◇六位 松本英雄（アウト四



文安雄・体育部長

六、イン四三、ハンデ一六・八、ネット七二・二）◇七位 新木相薫（アウト三九、イン四三、ハンデ九・六、ネット七二・四）◇八位 吉田正一（アウト四七、イン四七、ハンデ二一・六、ネット七二・四）◇九位 高本彦司（アウト三九、イン四二、ハンデ八・四、ネット七二・六）◇一〇位 田中勝雄（アウト五〇、イン四九、ハンデ二六・四、ネット七二・六）



華やかな彩りを添えた女性会員



## 各地で暖かい歓迎



上～濟州道庁を表敬訪問

下～道庁内の僑民室を見学



### 郷土訪問団ルポ記

関西濟州道民協会は四月七日から二泊三日の日程で、一一六名からなる郷土訪問団を派遣した。訪問団一行は各地で熱い歓迎を受け、また代表団は関係機関を表敬訪問し、関西濟州道民協会の現況を報告した。以下は、訪問団に参加した高昌照企画担当副会長のルポ記である。

四月七日（木）ー郷土訪問団一一六名は、小雨の降り続くあいにくの天気だったが、大阪国際空港カウンターに全員、元氣



慎知事（左）と康会長（右）

な姿で集合した。

関西濟州道民協会が設立されて第一回の訪問。大きな希望を胸に秘め、大韓航空KE1753便に搭乗し、午後三時にフライト。機内では早速出された食事を口にしながら、和気あいあいのムードで、訪問団一行は友好を深めあった。

濟州国際空港に到着したのは午後四時四五分。出発時の小雨がまるで嘘のように濟州島の空は晴れ間が広がる。通関を済ませ、空港ロビーに出ると慎久範



濟州道知事をはじめ、民族衣装も鮮やかな女性が、訪問者全員に歓迎の意味も込めて、花とバッチを胸につけて回る。この歓迎ムードを待ち兼ねたように、マスコミ数社がカメラのフラッシュの嵐・・・なお、一層、華やいだ雰囲気にも包まれた。

濟州オリエンタルホテルに荷を降ろした郷土訪問団一行は、午後六時三〇分から同ホテル二階での濟州道庁主催の晩餐会に参席した。ハングル文字のネームプレートを胸につけ、新たな気持ちの面々は、慎久範知事をはじめ知名者の歓迎の挨拶に、会場はシーンと静まりかえり、

## ふるさとの味を存分に楽しむ



真剣な表情で聞き入っていた。乾杯の音頭でいよいよ食事会が始まった。バイキング形式ながら、あわび、エビ、刺身といった取り立ての海の幸をふんだんに使った料理は、美味しく豪華そのもの。食べて、お酒を飲みながらの、地元の人達との和やかな歓談が続く、親睦を

深め、雰囲気は最高潮に達した。

なかでも郷土訪問団一行を喜ばせたのは、濟州島の民族衣装で、濟州島の風習、風俗を取り入れた舞踏は素晴らしく、すっかり酔いしれ、惜しめない拍手を送っていた。晩餐会終了後も慎久範知事は会場入り口で、接待客と、別れを惜しむかのようになり、一人一人と力強く、情熱を込めて握手しているのが印象的だった。

翌日の八日(金)ー観光組とゴルフ組。同協会の康忠男会長ら役員は濟州道庁に表敬訪問と分かれた。

観光組は二十二人。車窓から雄大な海岸線を眺めながら、観光バスは快調に走る。道路の両サイドには、いたるところで黄色の菜の花が満開で、美しい風趣をかもしだしている。まるで「黄色の絨毯」といった感じだ。この素晴らしい景色をバッチに記念写真を撮る新婚旅行のカップル、家族連れ・・・みんなの思い思いのポーズを取り、本当に楽しそうだ。

最初に訪れたのは、翰林公園。濟州市の西三三キロに位置す

る。枇杷樹と蘇鉄に挟まれた砂地の道を一〇分間程歩くと洞窟に着く。神秘に包まれた狹才窟、双竜窟を見学した後、昔、村の入り口とか城の城門の前に立てられ、守護的な機能を持っていたと伝えられる石じいさん(ドルハルバン)のユーモアあふれる姿に、目を奪われた。

昼食は大侖狩獵場で取った。この名物はキジ料理で、テーブルに出たのはシャブシャブ。肉は新鮮で、しかも風味があり、ビールを飲みながらのキジの味はまさに絶品だった。

続いて訪れたのは天帝淵瀑布。緑の生い茂った峡谷の中に、上中下の三段からなる滝で、その眺望は素晴らしく、優雅なアーチ型の仙臨橋とのコントラストは見事の一語に尽きた。

濟州島の自然と味をたっぷりと満喫した観光組は、ホテル「新羅免税店」でショッピングを楽しんだ後、濟州オリエンタルホテルに戻った。そして、午後六時からの関西濟州道民協会主催の食事会で、観光、ゴルフ組がテーブルを囲み「楽しかった日」の思い出話に花を咲かせていた。



## 慎久範濟州道知事が鶴橋地区の同胞商店街を視察

関西済州道民協会の創立総会に臨席するなど大阪を訪れた慎久範濟州道知事は、その途上、同協会関係者らの案内で、生野区の同胞商店街やコリアタウンを視察した。以下は視察に同行した金用文事業担当副会長の感想である。

生野区は在日同胞の最多住地域で、コリアタウンや鶴橋の同胞商店街はまさに同胞の生活の場です。その意味からもこの度、済州道知事に同胞商店街の実状を視察していただきましたが、実に有益な視察だったと思います。

在日同胞は、日本社会の差別のなかで、子弟を少しでも幸福にしようという願いで、生活基盤を築き上げるために汗水たらして一生懸命頑張ってきました。そうした現場が同胞商店街には集約されています。それに済州島人のメッカでもありません。ですから、実状を把握した済



済州道庁が今後の道政で、関西済州道民協会と一体になって、有効な在日済州道民のための諸行政を打ち出していたいただければ望

外の喜びです。そうしたことに對して私たははいささかの協力も惜しむものではありません。

## 済州島の祭り

ます。済州島一円で前夜祭、序祭、文化の夕べ、美術展、書道展、音楽会、国楽演奏会などの文化芸術行事や、さらに耽羅民俗祭、パレードなども行われます。

三姓穴祭

毎年四月十日、十月十日、十二月十日に全国各地から集まった高氏、良氏、夫氏の子孫達が済州市の三姓穴で先祖を祠ります。

漢拏文化祭

(十月中旬)

済州島の民俗芸術を発掘、育成し、新しい文化を創造するという趣旨で毎年十月に開催され



## 濟州道庁内に僑民室設置

### 戸籍・宿泊・病院など

### ありとあらゆる相談に

濟州道では、在日同胞の訪問、旅行、投資など郷土における活動にあらゆる便宜をはかるための「僑民室」を道庁の第二別館に三月十五日開設し、四月八日から業務を開始した。

この「僑民室」では、濟州道を安心して訪問できるようにとの配慮から、戸籍謄・抄本など諸証明、濟州道内の宿泊施設、車両、旅行日程などの予約業務、交通事故など有事時の病院への案内、縁故者捜しなどを処理して行く予定で、各種の苦情の処理も行う。さらに墓地安葬事業等も斡旋している。

また、在日同胞が郷土に寄贈した会館、学校、道路舗装、灯台、等々の写真を「僑民室」の壁にかけて展示し、その業績を称える一方、海外同胞に郷土便

りや道政ニュースを定期的に知らせ、特に濟州道総合開発計画と関連する投資案内や手続きなどの情報を提供する方針である。

※場所 濟州道濟州市蓮洞三一  
一二一一（濟州道庁内）

※電話 ○六四一四七一四九  
三二二

※FAX ○六四一四七一四九  
三二三

※僑民室規模：五〇坪  
※僑民室運営部署：濟州道企画担当官室（国際協力係）

※なお、関西濟州道民協会でも各種業務の代行、斡旋をしており、経験豊富な李永哲事務長はそうした業務を親切、丁寧、迅速をモットーに処理して、会員から喜ばれている。

## 濟州道庁僑民相談室利用案内

今般、在日濟州道民のために、民願処理業務等を担当する「僑民室」が濟州道庁内に設置され運営されております。

各種民願処理業務等は下記の通りですが、本協会事務所でもそれらの処理業務を代行しておりますので、お気軽にご相談、あるいはお問い合わせください。

### 【濟州道庁僑民相談室 業務内容】

- |                              |                                |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 愛郷墓地内 安葬事業一切斡旋            | 13. 出生届                        |
| 2. 一般地域内 安葬事業一切（有碑）          | 14. 婚姻届・離婚届                    |
| 3. 一般地域内 安葬事業一切（無碑）          | 15. 死亡届                        |
| 4. 移墓一切 墓地1基当                | 16. 合同慰霊祭（年1回）                 |
| 5. 墓石築                       | 17. 物件登録及び民事・刑事関係・司法書士・弁護士等 斡旋 |
| 6. 碑石（中南鳴石）小型一切              | 18. 僑民投資 誘致                    |
| 7. 碑石（中南鳴石）中型一切              |                                |
| 8. 碑石（中南鳴石）大型一切              |                                |
| 9. 祖上墓伐草代行 墓所 大・中・小型<br>距離不問 |                                |
| 10. 一般戸籍訂正                   |                                |
| 11. 戸籍謄本（抄本）                 |                                |
| 12. 分家届                      |                                |

### 関西濟州道民協会

大阪市東成区玉津1-4-22

TEL 06-973-3700

FAX 06-973-6080

# 若鷺のような柔軟性と 果敢な行動力で次代を担う

## 青年部の事業計画

青年部会長

朴 承 福

この度、関西在住の私ども済州島出身者の唯一の親睦団体である関西済州道民協会が発足し、今まさに、僑胞社会の発展向上をめざして新たな第一歩を踏み出したものと心より喜んでおります。

関西済州道民協会には敬愛する諸先輩方が多数ご入会されており、年齢層も三十〜七十歳代と非常に幅が広く、関西済州道民協会の前途は限りなく明るく輝いているものと信じて疑いません。

このような中、青年部も設置されることになり、若鷺のような柔軟性と果敢な行動力で、次世代を担うべく、今まさに飛び立ちとうとしております。ご承知の通り、青年部にも色々な職種、様々な考え方を持つ人が所属しております。思わぬ人、別な世界の人と知り合うのも何よりの魅力です。そうした観点か

ら、青年部は、

- 1 友情と友愛の精神の育成
- 2 部員相互の切磋琢磨
- 3 今後の人生において大事な友人の獲得
- 4 学生・二十〜三十歳代の後輩育成
- 5 将来の関西済州道民協会を担う人材の育成

を目的に、青年部主催のいろいろな活動を実施し、より多くの親交と自己の研鑽を積み上げて行きたいと願っております。青年部の事業としては、

- 1 毎月1回の幹事会：若さを発揮した情熱ある議論
- 2 六月度 ボウリング大会：家族一緒にの親睦
- 3 八月度 野遊会：家族一緒にの親睦
- 4 九月度 スポーツ大会：1泊の出張幹事会を兼ねたゴルフ
- 5 一〇月度 母国訪問：済州島の訪問

- 6 一〜一月度 懇親会：青年部発足にあたっての会員の親睦（夫婦同伴）
- 7 一〜二月度 忘年会：1年間の親睦の総括
- 8 来年度定期総会：青年部の今後1年間の活動方針の決定と総括
- 9 その他 機関誌発行：青年部の1年間の活動内容の広報活

動 等を計画しております。また、当然のことながら、関西済州道民協会全体の事業にも積極的に参加し、協会の発展のために尽力していきたいと願っておりますので、諸先輩方の暖かい御支援御鞭撻をお願いする次第であります。

### 第8回アジア太平洋管楽祭 関西地区演奏会

日時 1994年7月25日(月)  
午後5時～

場所 大阪韓国人会館 5階大ホール

**入場料は無料です**

問い合わせ

関西済州道民協会

大阪市東成区玉津1-4-22

TEL 06-973-3700

FAX 06-973-6080

## 第2回理事会を開催

関西済州道民協会の第二回理事会が五月十日午後五時から大阪市東成区の玉津会館で開かれた。

挨拶に立った康忠男会長は「私たちの念願であった会館が取得できました。これも皆さんの一致団結した結果の賜だと感激もひとしおです。今後とも賛助金活動等難問題も待ちかまえておりますが、歩きながら考えることにし、二世三世のために前進しましょう」と訴えた。

この後、経過報告が行われ、議案が審議された。その結果、①会館名義を株式会社関済協を設立して登記する②新会館へは六月十五日に移転し、移転祝賀会を六月二十七日に開催する③賛助金活動を積極的に展開する、等を満場一致で承認可決した。

その他、済州道庁の僑民相談所業務の案内や済州道特産品大阪常設展示場を新会館に設置することが報告された。また、韓国管学協会大阪慰問公演の協力が要請された。

### 第1回理事会

関西済州道民協会は三月七日、大阪市天王寺区の大坂教育会館で第一回理事会を開き、七十八人が出席した。

席上、四月七日から四泊五日の郷土訪問団派遣を決め、また会館建設を早急に進めることに合意し、さらに、会員一千人を早急に達成することも申し合わせた。

第1回理事会のもよう



### 経過報告

(一九九四年)

【一月】▽一月一七日 済州道知事一行本協会事務所来訪  
▽一月一九日 第一回執行部定例会議(事務所) ▽一月二五日 郷土訪問団打ち合わせ

総務部・事業部・渉外部(教育会館) ▽一月二六〜二七日 郷土訪問団・会員ゴルフ会打ち合わせ 渉外部・体育部・事業部(事務所)

【二月】▽二月二日 財団法人設立の件打ち合わせ(事務所)

▽二月八日 執行部ゴルフコンペ(北六甲CC) ▽二月八日 第二回執行部定例会議(北六甲CC) ▽二月一五日 組織委員会(事務所) ▽二月二日 緊急執行部会議(事務所) ▽二月二五日 体育委員会(事務所)

【三月】▽三月七日 第一回理事会(教育会館) ▽三月八日 第一回ゴルフコンペ 一四二名参加(北六甲CC) ▽三月一一日 企画部委員会(事務所) ▽三月一七日 第三回執行部定例会議(事務所) ▽三月二五日 渉外部委員(事務所)

【四月】▽四月一日 第四回執行部定例会議(事務所) ▽四月七日 郷土訪問団出発 一六名参加(二泊三日) 同知事主催晩餐会(オリエンタルホテル) ▽四月八日 郷土訪問団主催食事会(オリエンタルホテル) ▽四月九日 康忠男会長主催晩餐会(オリエンタルホテル) ▽四月二三日 旧済州道民会会館契約(済) ▽四月一四日 新会館(事務所)購入の打ち合わせ(事務所) ▽四月一五日 緊急執行部会議(事務所) ▽四月一七日 済州青年会解散総会(太閤園) ▽四月二五日 緊急執行部会議(事務所) ▽四月二五日 新会館仮契約(済) ▽四月二六日 故安在枯顧問告別式(臨南寺会館)

【五月】▽五月一〇日 第二回理事会(玉津会館) ▽五月一三日 定款届く株式会社関済協(公証役場) ▽五月一六日 企画委員会へ会報(事務所) ▽五月二〇日 新会館登記簿本届く株式会社関済協(法務局) ▽五月二四日 緊急執行部会議(事務所)

【六月】▽六月一日 企画委員会へ会報(事務所) ▽六月六日 第五回執行部定例会議(事務所) ▽六月九日 新会館本契約・取引 ▽六月一五日 新会館へ事務所移転 ▽六月二七日 新会館開設祝賀会

# 2世3世のために新会館

## 盛大に開設祝賀会

関西済州道民協会は大阪市東成区玉津一丁目四番二二号に新会館（写真）を取得し、六月十五日に移転するとともに、六月二十七日午後五時から同所で新会館開設祝賀会を盛大に開催する。

### 賛助金活動を

### 積極的に展開

関西済州道民協会は新会館取得に伴う賛助金活動を積極的に展開している。

新会館は、次代を担う子孫達に残す資産で、関西在住の済州道出身者全員の憩いの場、あるいは交流の場であるという観点

から、一人でも多くの人からの賛助を期待したいとしており、相談役・常任理事は五十万円、理事は三十万円、一般会員は五万円がそれぞれ一口金額となっており、一口以上いくらでも受け付けている。

一方、旧道民会は康秉熙、洪正一、旧親睦会は梁斗京、金孝晃、洪正雄、旧青年会とOB会は呉辰成、韓長淑、安泰栄、その他は金用文、高昌照、とそれぞれに分担を決め、会長団と一緒に募金活動に回っている。

### 会館取得までの経緯

新会館取得の経緯は次の通り。

- ◇一月十六日 創立総会で会館取得を表明 ◇三月 会館候補地探し ◇四月十四日 大阪市東成区玉津一丁目四番二二号の七階建ビル購入打ち合わせ
- ◇四月二十日 同ビル購入再度打ち合わせ ◇四月二十五日 同ビル購入仮契約 ◇五月十三日 株式会社関西協設立届け
- ◇五月二十日 新会館を関西協で正式登記 ◇五月三十日 新会館取引本契約 ◇六月十五日 新会館へ移転 ◇六月二十七日 新会館開設祝賀会



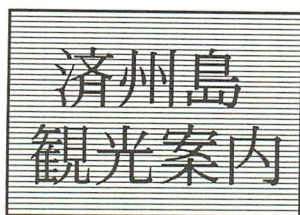
# 中文・城山浦・表善の 3大観光地を 大規模開発

濟州道は、五月に「二十一世紀濟州総合開発計画案」を確定し、新たな発展を指向することになった。

現在、濟州道へは年間三百五十万人の観光客が訪れており、二千年には五百三十万人に増えると予想されている。そのため二〇〇一年までに

総額一兆七千九十五億ウォンを中文、城山浦、表善の三大観光地に投資、十地区で大規模な観光開発に取り組む。

一方、関西濟州道民協会の会館に濟州道特産品の大阪常設展示場を開設し、利用を呼びかけている。



には亜熱帯植物から寒帯植物まで一八〇〇種の植物が分布しています。中腹には第二横断道路が貫通しており、海拔一〇〇メートルの沿道には九九谷、靈室奇岩など名勝地に事欠きません。また、野鳥の鳴き声も趣を添えてくれます。

## 漢拏山

海拔一九五〇メートルで、濟州島のシンボルです。山中

## 白鹿潭

漢拏山山頂の火口湖で、白い鹿と妖精がここで出会ったとい

う伝説があります。周囲の奇岩絶壁が神秘的な雰囲気をもじだし、高山植物をはじめいろいろな植物が観察できます。

## 濟州道民俗自然史博物館

島の生成過程と物質を示す模型や、動物、魚類などの剥製をはじめ、島の生活史を再現したコーナー、郷土料理、農機具、日用品など貴重な資料が展示されています。

## 龍頭岩

龍頭岩が濟州を象徴する名物の一つで、濟州市のほどちかい竜潭洞の海辺にあります。岩が口を開け、天に昇ろうとする竜の頭の姿に似ているというので、龍頭岩と名づけられました。

## 耽羅木石苑

自然の力によって作り出された木一〇〇〇点と石五〇〇〇点の造形美がずらりと並べられていて、その中には、地方文化財に指定されているものもあります。

## 山房山

山房山は海拔三九五メートルの巨大な岩山で、漢拏山の高嶺を引き抜き移したもので、その後が白鹿潭になったという説話が伝わっています。岩壁には風蘭、岩蘭などの珍しい植物が自生し、中腹には天然の洞窟があつて、中には高麗時代に建てられた山房窟寺があります。

## 翰林公園

濟州市の西三三キロメートルの所にあり、挾才窟、双龍窟、伝統家屋、植物園などがあつて、年中公開されています。

## 城山日出峰

漢拏山の熔岩が海中に噴出してできた円錐状の奇岩で、その形が岩のようであるところから城山という名がつけました。海拔一八二メートルの盆地状の噴水口には草が生い茂り、そこから見る日の出はたとえようのない荘厳さがあります。

## 文珠蘭自生地・兔島

北濟州郡旧左邑にある小さな島の兔島は、韓国唯一の文珠蘭の自生地です。文珠蘭は暖地の海浜や砂地に自生する大型の常緑多年草で、香り高く、観賞用として人気があります。

## 正房瀑布

西帰浦の東側にあり、水が二メートル下の海に直接落下するという珍しい滝です。勢いよく飛び散る水しぶきの景観は素晴らしいの一語に尽きますが、この付近は海女の本場で、海辺にはアワビやサザエなど新鮮な海産物の店が立ち並んでいます。

## 將軍石

西帰浦から車で五分ほどの海岸に、高さ二〇メートルの石柱がそびえ立っています。高麗時代の名将・崔將軍がこの石柱を自分と思わせ、島にいた蒙古人の乱をおさめたということとして有名です。

# あとがき

私たち濟州島人の悲願ともい  
うべき四団体の統合が実現し、  
関西濟州道民協会として出帆し  
たのは一月十六日のこととし  
た。それから六カ月後の六月二  
十七日付で、会報「関濟協」が  
発刊できましたことを関係者一  
同ほっと胸をなでおろしており  
ます。

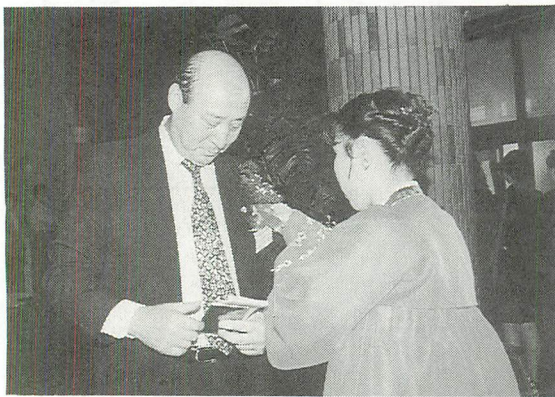
その間、関西濟州道民協会と  
統合団体にふさわしいいろいろ  
な事業を大規模に展開してまい  
りました。三月の親睦ゴルフ会  
には一四二名が参加し、四月の  
郷土訪問団には一一六名が参加  
し、故郷のあちこちで熱い歓迎  
を受けました。

なかでも、六月の新会館開設  
は何よりの吉報と心より喜んで  
おります。新会館は濟州島人の  
みならず関西在住の在日同胞の  
憩いの場として活用されるであ  
りましょうし、郷土濟州島の特  
産物を紹介する展示場にもなり

ます。また、次代を担う二世三  
世の育成の場として各種の催し  
物が開催されるでありますよ  
う。

会報「関濟協」はそうした  
諸々の活動を紹介し、あるいは  
濟州島人の考えや思いを幅広く  
掲載していくことをめざしてお  
ります。

創刊号の月号は、一月の創立



▲高昌照企画担当副会長  
▼金成洙企画部長



総会から六月の新会館開設まで  
の諸事業を紹介するとともに、  
康忠男会長、呉承明会長代行の  
「挨拶」を掲載いたしました。  
また、韓長淑総務担当副会長と  
洪鍾淳厚生担当副会長の喜びの  
声も掲載いたしました。さらに  
来賓祝辞として慎久範濟州道知  
事と濟州道名誉道民章を授与し  
た李熙健関西興銀会長の挨拶を  
掲載しました。それぞれに示唆  
に富む内容だと思えますので、  
ご一読下されれば幸いです。  
裏表紙に掲載しましたドルハ  
ルバンは昔、道しるべの役割も  
持っていたということですが、  
会報「関濟協」が関西濟州道民

協会の道しるべとなるよう精進  
を重ねていく所存でありますの  
で、絶大なる御指導御支援のほ  
ど切にお願ひ申しあげます。  
なお、創刊号の発刊にあたり  
ましては、李永哲事務長はもち  
ろんのこと、編集を引き受けて  
いただいた韓登氏と藤田三十八  
氏のご労苦に対して改めて感謝  
申し上げます。

企画担当副会長 高昌照  
企画部長 金成洙

関西濟州道民協会 会報

関 濟 協 創刊号

1994年6月27日発行

発行所 関西濟州道民協会

会長 康 忠 男 会長代行 呉 承 明

企画編集 関西濟州道民協会 企画部

関西濟州道民協会

大阪市東成区玉津

1-4-22

TEL 06-973-3700 (代)

FAX 06-973-6080

